

# VI 受験上の注意

## 所持品

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>○黒鉛筆 (HB) ※シャープペンシルは記述解答部分には使用できませんが、マーク解答には使用できません。</li> <li>○プラスチック製消しゴム</li> <li>○鉛筆削り (電動式を除く)</li> <li>○時計 ※辞書機能・電卓機能・通信機能が組み込まれたもの、それらの機能の有無が判断しづらいもの、キッチンタイマー・ストップウォッチ・手のひらサイズを超える大型のものは使用できません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末などの電子通信機器</li> <li>○定規 (定規の機能を備えた鉛筆等を含む)</li> <li>○コンパス</li> <li>○電子辞書、翻訳機</li> <li>○電卓、そろばん</li> <li>○赤ペン、色鉛筆、色マーカーペン (蛍光ペンなど)</li> <li>○和歌・格言などが記されている鉛筆</li> </ul>

●時計の貸し出しは行いません。●昼食は各自で用意してください。●上履きを持参する必要はありません。

## 試験会場への 入退場

### 入場

受験票をしっかりと確認し、試験日・入試方式・試験会場を間違えないよう十分注意してください。

- (1) 試験会場の開門は9:00です。
- (2) 受験票は必ず持参し、試験会場入口で受験番号が見えるよう提示してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験会場入口の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。仮受験票を交付する場所は試験会場ごとに異なります。必ず入口の係員に確認してください。
- (3) 全試験日共通で、10:15から試験の重要な説明、顔写真の照合、問題冊子・解答用紙の配付等を開始します。それまでに試験教室に入室し、自分の受験番号の席に着席してください。試験開始時刻は全試験日共通で、10:30です。
- (4) 指定された試験会場以外では、理由のいかんに関わらず受験できません。

### 遅刻

- (1) 遅刻は、1時限開始後20分(10:50)まで認めます。ただし、「入場(3)」の説明が受けられませんので、時間に余裕をもって、早めに来場するようにしてください。
- (2) 公共交通機関の乱れ・遅れが生じた場合は、試験開始時刻を繰り下げることがあります。その際は、下記の音声自動応答テレフォンサービスの案内に従ってください。この場合、可能な限り駅で「遅延証明書」を発行してもらい、「公共交通機関の遅れにより遅刻した」ことを、必ず試験会場入口の係員に申し出てください。申し出がない場合は、試験時間繰り下げ等の対応ができない場合があります。  
大規模な公共交通機関の遅れに対しては、出来る限り試験時間割の繰り下げ実施など対応を取りますが、試験の進行上、繰り下げる時間には限界がありますのでご了承ください。繰り下げ等の対応は、本学入試情報サイト (<http://nyushi.hosei.ac.jp/>) でもご案内します。

音声自動応答テレフォンサービス **03-5972-6755**

### 退場

- (1) 答案が完成した場合でも、試験が終了するまで退室できません。各時限とも、監督者の指示があってから退室してください。途中退室した場合は、全科目について欠席扱いとなり、合否判定の対象となりません。
- (2) 最後の試験科目が終了するまで、試験会場の外へ出ることはできません。

注：市ヶ谷キャンパス内では校舎建て替え工事のため一部通路が狭くなっています。試験終了後は教室ごとに退出を案内する場合がありますため、退場に時間がかかることがあります。

## 試験時間中の注意

- (1) 試験会場内ではすべて監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- (2) 毎時限、試験開始15分前には自分の受験番号の席に着席してください。
- (3) 受験票は監督者が見やすいよう半分に折り、机の上に置いてください。受験票は切り離さないでください。
- (4) 試験教室に時計はありません。時計は各自持参してください。
- (5) 携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末などの電子通信機器は、試験教室に入る前に電源を切ってかばんに入れておいてください。これらは時計として使用できません。また、アラーム機能がある時計は、鳴らないように設定してください。  
試験時間中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんが特定できた場合、持ち主の同意なく監督者が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。
- (6) 試験時間中、英文字や地図等がプリントされている衣類(上着)を着用しないでください。監督者が試験に支障があると判断した場合には脱いでいただくことがあります。また、帽子・サングラスの着用はできません。監督者から指示があった場合は従ってください。
- (7) マスクを着用している場合は写真照合や不正行為防止のために一時的に外すよう指示をする場合があります。監督者から指示があった場合は従ってください。
- (8) ティッシュペーパー・ハンカチ・座布団・ひざ掛け・目薬を使用したい場合は、監督者の確認を受けたくて使用できます。
- (9) 耳せんは、監督者の許可を得たくて、使用を認めます。ただし、耳せんの使用により、監督者の指示が聞こえないなどして不利益が生じた場合でも、大学は一切補償しません。
- (10) 試験教室は受験番号によって割り当てられますが、試験会場ごとの施設・建物・階数などによって、教室の大きさや室温などの環境は異なります。また、日常生活騒音(自動車・空調機の音、他の受験生の咳・くしゃみなど)に対して、座席の移動や、試験時間の補償はしません。
- (11) 試験時間中の(ガム・あめなどを含む)飲食はできません。
- (12) 他の受験生が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。
- (13) 試験時間中、身体の具合が悪くなった時は、監督者に申し出てください。容体により、大学が別に用意した場所がある場合にはそこでの休憩は認めますが、その分の試験時間の補償や、診療所での受験はできません。
- (14) 試験時間中、隣席の受験生がトイレに行く、体調不良による入退室の際などに、監督者の指示により、席を立っていただくことがありますので、ご了承ください。
- (15) 以下のように、大学が指示する解答方法に従わなかった場合、採点が正常にできない場合があります。その際の補償は一切しません。
  - マーク解答方式で、シャープペンシルを使用してマークした
  - 解答用紙に氏名または受験番号を記入し忘れた
  - 受験する学部学科が指定する科目・設問を解答していない、またはそれ以外を解答した

## 不正行為について

- (1) 以下に例示したことは不正行為になります。
  - カンニング行為(カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案、携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末、電子辞書などを見る、他の人から答えを教わる、等)
  - 1つの時限で、2科目以上を解答した
  - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をした

- 監督者の指示に従わず、問題冊子を開き解答を始めた、または解答をやめなかった
  - 使用を認められていない用具を使用した
  - 試験時間中または休憩時間に関わらず、他の受験生の妨害や迷惑行為を行った
  - 入学志願書、解答用紙に故意に虚偽の記載等（入学志願書に本人以外の写真を貼る、解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をした
  - その他、試験の公平性を損なうような行為をした
- (2) 不正行為が疑われる際に、注意をすることや事情を聴取することがあります。
- (3) 不正行為と認められた場合の本学の対応は以下のとおりとします。
- ①当日の入学試験の成績を含め、本年度受験した本学入学試験すべての成績を無効とします。
  - ②翌日以降に行われる本年度の本学入学試験の受験は認めません。
- ※上記①、②いずれの場合も入学検定料は返還しません。

### その他の注意

- (1) 市ヶ谷キャンパス、小金井キャンパスは以下の時間帯で下見をすることができます。ただし、試験教室内に入ることはできません。また、入学試験を実施している場合は試験終了まで入構できません。
- ・下見可能時間 8:00～18:00 ※入学試験実施日は試験終了後から
- 注：法政大学第二中・高等学校、TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、日本大学通信教育部校舎、札幌、仙台、新潟、長野、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡各会場は、建物内の下見はできません。
- (2) 試験中は、原則として受験生以外は試験会場に入れません。また、すでに入場した受験生への忘れ物等の受け渡しは、厳正な試験運営に支障をきたす恐れがあるため応じません。
- (3) 試験会場への車での入構はできません。また、試験会場周辺の交通の妨げとなりますので送迎もご遠慮ください。受験生向けの駐輪場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- なお、自家用車など公共交通機関以外を利用して試験開始時刻に遅刻した場合は、試験時間の補償などは一切しません。
- (4) 試験会場は館内すべて禁煙です。
- (5) 試験終了後、忘れ物がないか確認してから退室してください。忘れ物をした場合は、法政大学入学センター（03-3264-9312）まで連絡してください。
- (6) T日程・英語外部試験利用入試およびA方式入試では、受験生側の事由により試験を欠席した場合、「追試」などの救済措置は講じません。
- (7) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症にかかり治療していない方は、他の受験生や監督者等に感染するおそれがあるため、受験はできません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- (8) 不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置を講ずる場合があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害については、本学は責任を負いません。これらの対応措置を講ずる場合は、本学入試情報サイト(<http://nyushi.hosei.ac.jp/>)に掲載しますので、確認してください。

試験会場周辺でリーフレット・パンフレット類の配布や各種勧誘および「試験問題正解（模範解答）」の販売などを行っている場合がありますが、本学とは一切関係ありません。勧誘に応じたり、氏名や連絡先などの個人情報をお教えしたことにより発生した事故やトラブルには本学では一切責任を負いませんので、十分注意してください。